

UBE読書のまちづくり

～宇部市立図書館全面リニューアルに向けて～

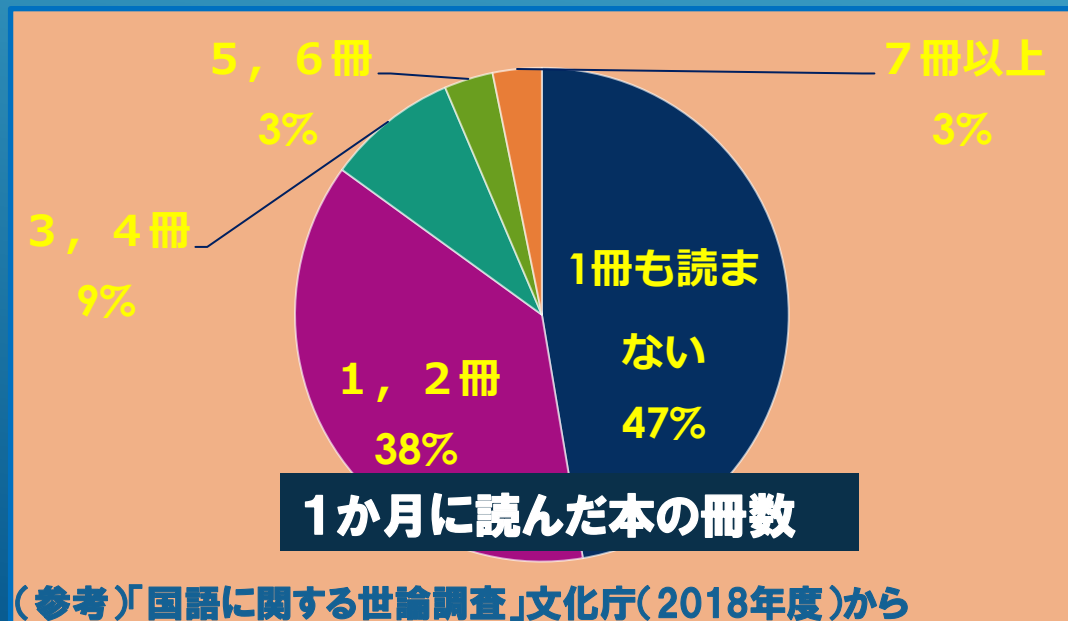


2020/9/12

市民の読書活動の状況 1年間で読んだ本(雑誌、漫画は除く)の冊数

項目	回答者数	比率	グラフ
まったく読んでいない	11人	7.4%	
5冊以内	39人	26.2%	
6~10冊	26人	17.4%	
11~20冊	26人	17.4%	
21~30冊	18人	12.1%	
31~50冊	9人	6.0%	
51~100冊	14人	9.4%	
101冊以上	6人	4.0%	

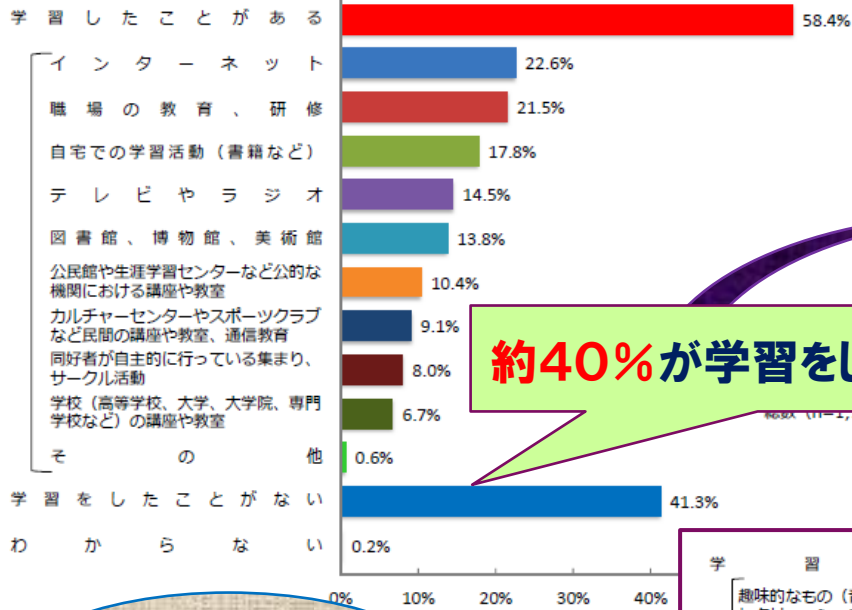
※インターネット市民アンケート(2018年6月)から



約半数の市民がほとんど読書をしていない(月1冊以下)
 ※宇部市でも全国でも同様

(参考)「国語に関する世論調査」文化庁(2018年度)から

生涯学習の現状と意欲 (生涯学習に関する調査から)

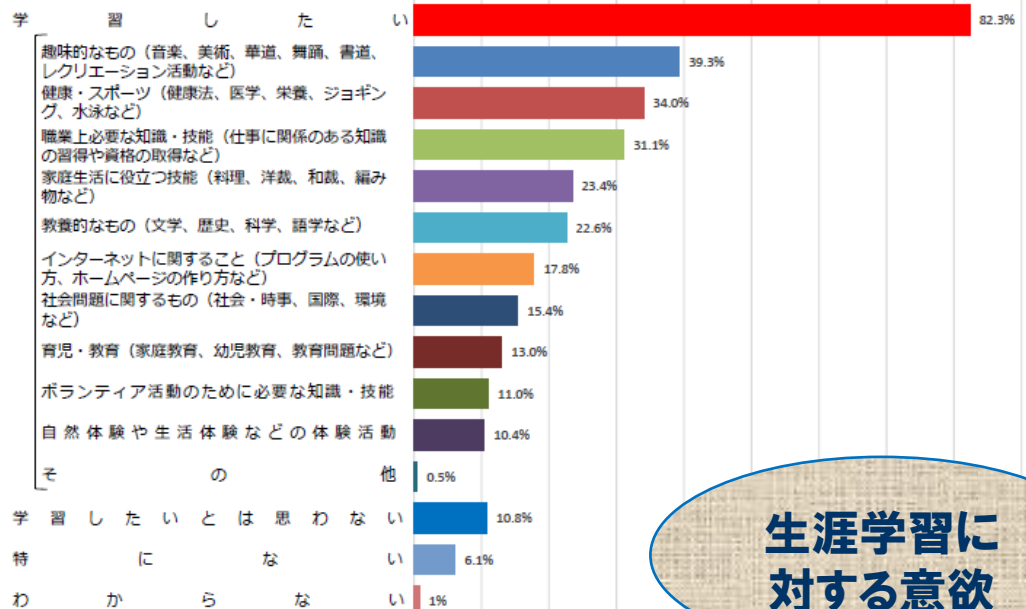


約40%が学習をしていない

きっかけ作りや気運の醸成が必要

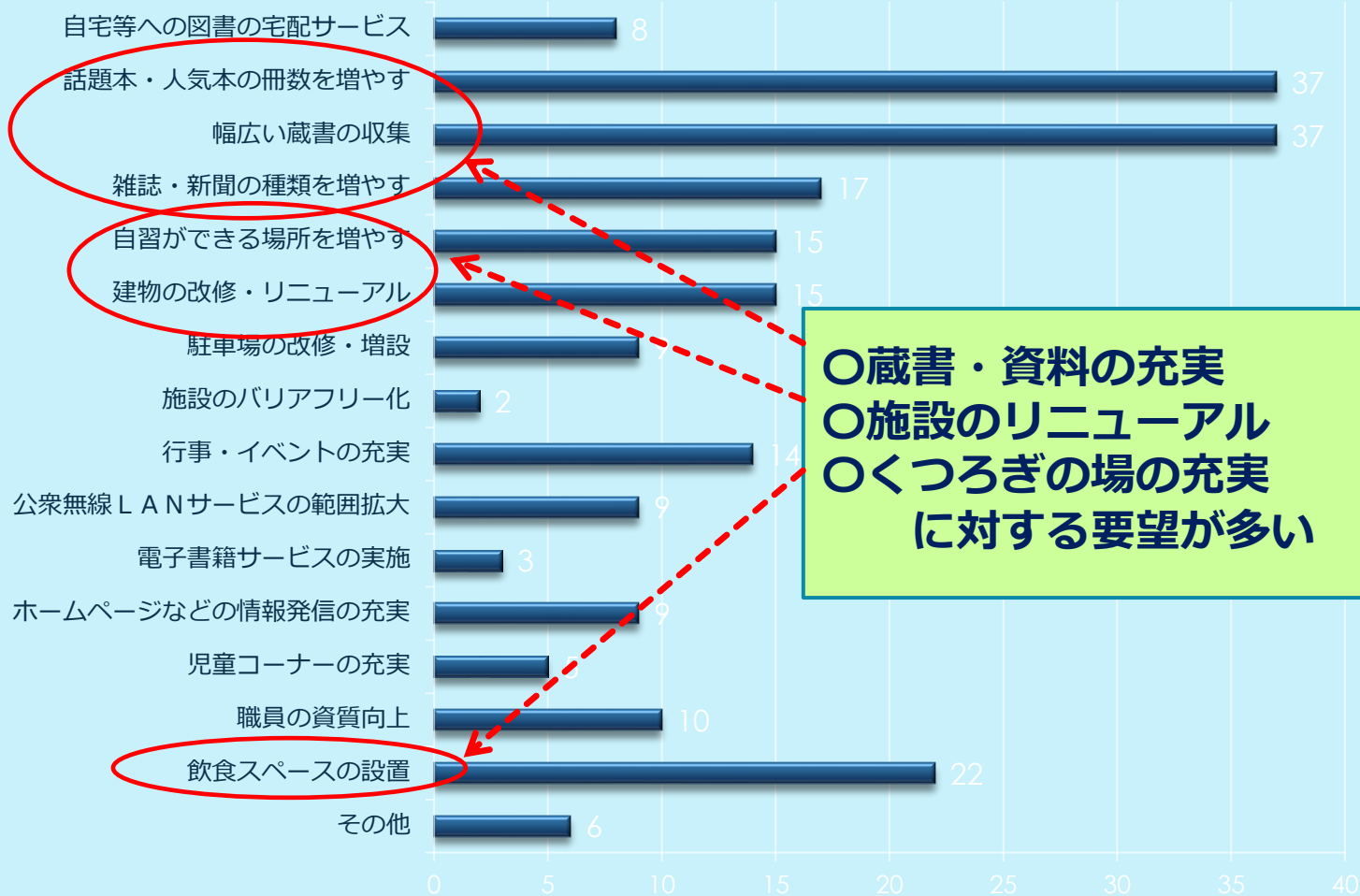
約80%が学習意欲がある

生涯学習の現状
(この1年間)



生涯学習に
対する意欲

図書館利用者の望むサービス



※図書館利用者アンケート（2018年6月）から

UBE読書のまちづくりビジョンのイメージ

基本理念

本を通じて「ひと」と「まち」が繋がり、ともに成長する 読書のまち 宇部

ひとづくり

ライフステージに応じた読書活動の推進
と読書を支える人財づくり

- 子ども・若者の読書活動の推進
- 読書活動の普及啓発
- 市民の学びとともに進化する図書館
- 市民の課題解決との連携
- 高齢者や障害者等への読書活動支援
- 読書を支える人財の育成・活動支援



まちづくり

市民の誰もが、いつでも、どこでも本に出
合えるまちづくり

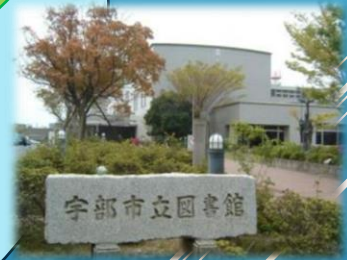
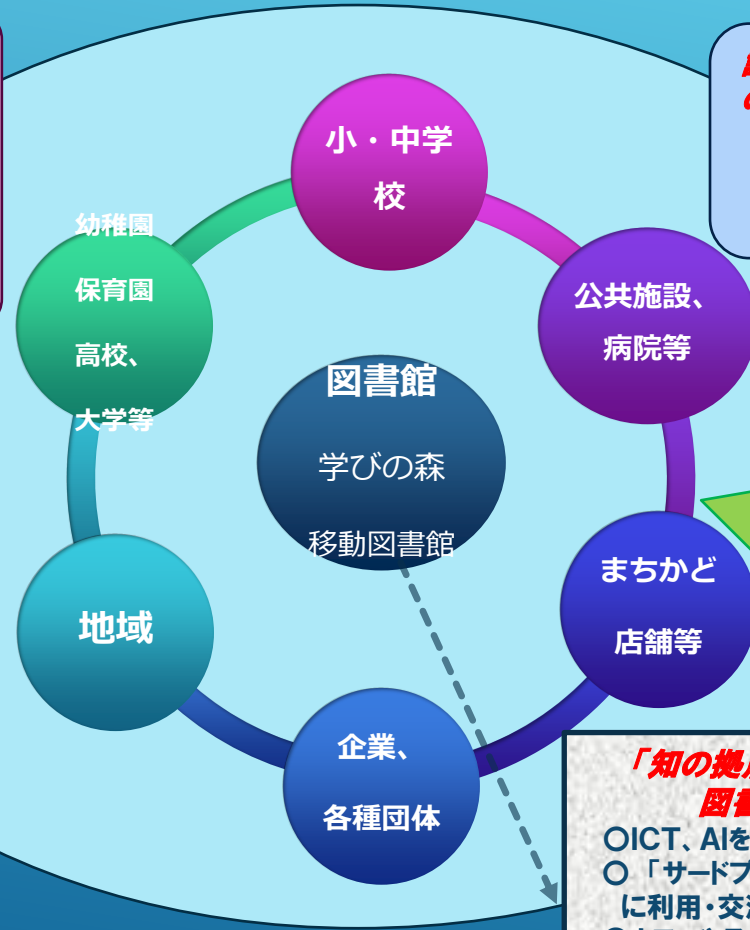
- どこでも読書に親しめる環境づくり
- 本を通じたコミュニティづくり
- 市のまちづくりとの連携



ネットワークづくり

読書のまちづくりを進める人・情報・モノ
のネットワークづくり

- 人がつながる
- 情報がつながる
- モノがつながる



「知の拠点、集いの場、憩いの空間」 図書館を全面リニューアル

- ICT、AIを活用したハイブリッド図書館
- 「サードプレイス」として市民の誰もが気軽に利用・交流できる図書館
- カフェやスイーツも楽しめる「憩い」の場としての図書館
- 情報発信・情報交流の場としての図書館
- 赤レンガ、彫刻等、宇部の歴史・文化を伝承し、永く愛される図書館

図書館全面リニューアルに向けて

平成3年(1991年)の開館後、約30年が経過した市立図書館を多様化するニーズに対応した「読書のまちづくり」の拠点施設として全面リニューアル

図書館全面リニューアルに向けてのコンセプト

- 1 ICT、AIを活用した**ハイブリッド図書館**
- 2 「**サードプレイス**」として市民の誰もが気軽に利用・交流できる図書館
- 3 カフェやスイーツも楽しめる「**憩い**」の場としての図書館
- 4 **情報発信・情報交流の場**としての図書館
- 5 **赤レンガ、彫刻等、宇部の歴史・文化を伝承し、永く愛される図書館**



新型コロナウイルスに配慮した図書館運営・図書館サービス



感染防止への配慮



電子図書館の導入(2020年度～予定)



いつでも！どこでも！読書ができる図書館サービス

新しい生活様式によるイベント等の開催

